



白砂青松の地で

もう十分な夏休み、そして2学期のがんばりへ

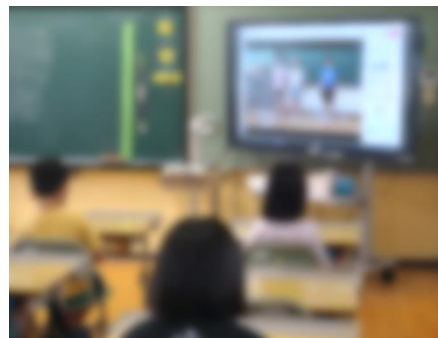
夏休みがラスト10日になりました。9日の登校日には、久々に友達と会ってうれしそうに過ごす様子がありました。幸いこれまで事故や大きな怪我等の連絡が届いていません。猛暑の中(大雨も)にも、ご家庭の指導のもと、子供たちが日々元気に生活できていることと思います。



1学期の終業式には、様々なことにチャレンジして「なりたい自分」に近づけるように、そして笑顔の多い夏休みにしてほしいと話していました。人と比べることなく、自慢できることや自信を持てたことが一つでもあるといいと思っています。そして、8月末には「夏休みはもう十分」と言え、1学期や夏休みの振り返りや感想から2学期の目標を考えておくような前向きな思いを持ってほしいと思っています。よい切り替え(生活習慣も)が8月末には大切です。

『平和集会』の大切さ

戦後80年、8月9日の「県民祈りの日」には、4年生がリードする平和集会を開きました。4年生は長崎原爆資料館見学で学んだことや総合的な学習の時間に調べたこと等、「平和な世の中をつくるために」をテーマにした学習を進め、その内容をまとめて発表してくれました。暑さ対策のために集合形式ではありませんでしたが、動画にまとめられた発表でも、放送による司会進行でも、4年生は緊張しながらも一人一役の責任を果たしていました。



平和集会後には、縦割り班で折り鶴をつくる時間を設けました。目的があり教え合いのある優しい雰囲気が感じられました。11時2分には黙とうをしました。平和は一人一人から、そして日々の考えや行動から始まるものです。平和の意味を理解し、自分たちが平和で幸せな世界をつくる意識が持てた1日になりました。

今年の夏は「クスノキ」の曲がテレビでよく流れていました。NHKの被爆80年の特別企画曲に選ばれたり映画の主題歌にもなったりしたからでしょう。歌詞に、恒久平和のメッセージと今どう生きるかの投げかけを感じることができます。発達段階によりますが、世界中で起きている戦争や紛争にまずは関心を持つことが大切だと考えています。時々ご家庭でも話題にさせていただくと、平和や融和について目を向ける機会になりますね。



※メディア使用については全国的に課題と言えます。夏休みの状況はいかがですか。

極端と考えがちですが、新聞に「ネット犯罪被害」の記事がありました。よい判断のために参考にしていただけたいと思います。